

## 会議の状況

令和元年度第4回青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会

1. 日 時 令和2年2月6日(木) 13:30~15:30

2. 場 所 ホテルクラウンパレス青森 2階 奥入瀬の間

3. 出席委員 17名

4. 提出資料

資料1 会議の状況

資料2 原子力施設環境放射線調査報告書(案)(令和元年度第2四半期報)

資料3 原子力施設環境放射線調査報告書データ集(案)(令和元年度第2四半期報)

資料4 東通原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)(令和元年度第2四半期報)

資料5 東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング実施計画の改訂について

参考資料1 原子燃料サイクル事業の現在の状況について

参考資料2 東通原子力発電所の現在の状況について

参考資料3 リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

5. 概 要

(1) 議事

ア 原子力施設環境放射線調査結果について(令和元年度第2四半期)

(7) 原子燃料サイクル施設

県及び日本原燃(株)から資料2により説明があり、次のとおり評価された。

- ・原子燃料サイクル施設に係る令和元年度第2四半期の環境放射線等調査結果は、これまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。

(4) 東通原子力発電所

県及び東北電力(株)から資料2により説明があり、次のとおり評価された。

- ・東通原子力発電所に係る令和元年度第2四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。東通原子力発電所からの影響は認められなかった。

(7) リサイクル燃料備蓄センター

県から資料2により説明があり、次のとおり評価された。

- ・リサイクル燃料備蓄センターに係る令和元年度第2四半期の環境放射線調査結果は、これまでと同じ水準であった。

委員から、原子燃料サイクル施設に係る表土の Sr-90 分析時の試料の回収率について質問があり、県から、比較対照(青森市)については74%程度、他は60~80%程度とこれまでと同程度であり、問題ないものと考えていると回答した。

イ 東通原子力発電所温排水影響調査結果について(令和元年度第2四半期)

県及び東北電力(株)から資料4により説明があり、今後も引き続き調査を継続し、データの収集に努めていくこととした。

ウ 東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング実施計画の改訂について

県から資料5により東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング実施計画の改訂について説明があった。

委員から、緊急時における速やかな Sr-90 分析の実施方法について質問があり、現在国において Sr-90 及び Sr-89 の迅速分析法が検討されており、この分析法が策定された際は県としても分析体制を整える旨回答した。

## (2) その他

### ア 原子燃料サイクル事業の現在の状況

日本原燃(株)から参考資料1により新規規制基準への対応状況、各事業の運転状況等について説明があった。

委員から、六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センターに係る廃棄物埋設事業変更許可申請について、覆土の時期の変更の判断は県民に不安や懸念を与えないよう慎重に行うべきとの意見があり、日本原燃(株)から、説明は丁寧に行っていく旨回答があった。

### イ 東通原子力発電所の現在の状況

東北電力(株)から参考資料2により東通原子力発電所の運転状況等、新規規制基準適合性審査の状況について説明があった。

### ウ リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況

リサイクル燃料貯蔵(株)から参考資料3により新規規制基準適合性審査の状況について説明があった。